

多摩市立図書館 「現況と課題チャート」	資料世界 ＜本・情報＞	図書館員 ＜人・組織＞	図書館施設 ＜場・環境＞	市民利用者 ＜活動＞	マネジメント ＜運営＞
<p>分館 ＜地域館＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東寺方</li> <li>豊ヶ丘</li> <li>聖ヶ丘</li> <li>唐木田</li> </ul>	<p>カルタ01/本・地域館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館蔵書規模は約4,2～5.8万冊、全て開架。＜今後の地域館への要望＞</li> <li>◎健康情報、乳幼児の絵本など資料に期待。</li> <li>◎行政ランチとしての資料収集に期待。</li> <li>◎新聞雑誌などの充実への期待。</li> <li>▲全集ものの全巻が揃って棚にない。</li> <li>▲3万～5万冊分館の生活に対応した蔵書構成に徹底されず、リスト返却の結果の資料世界。</li> <li>▲近年、地域館の資料購入図書が減っている、利用者は永山図書館利用に傾斜している。</li> <li>▲新聞のタイトル数は6。雑誌は60。</li> </ul>	<p>カルタ02/人・地域館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館職員規模は5人～8人（唐木田9人）（常勤0～2人、嘱託等5～6人、唐木田委託9人）（職員1人年間貸出し.8～2万冊、唐木田1.4万冊）</li> <li>▲唐木田は窓口業務委託、館長は正職を配置。＜今後の地域館への要望＞</li> <li>◎それぞれの地域館に相応しい資料構築への期待。</li> <li>◎必要な資料が手に取れるよう、地域館の職員が地域館の蔵書構成に責任を持つ体制が欲しい。</li> <li>◎小さい蔵書規模の分館の配架構成方針が必要。</li> </ul>	<p>カルタ03/場・地域館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館床面積規模は約500㎡～。（東寺方551.豊ヶ丘508.聖ヶ丘842.唐木田577㎡）</li> <li>▲唐木田、聖ヶ丘以外の複合施設には老朽化の課題。</li> <li>・唐木田の喫茶コーナー、展示は人気がある。</li> <li>▲高齢者や子どもには良い動き盛りの利用に不足。</li> <li>・地域に近い図書館の魅力。児童生徒の居場所。</li> <li>▲お話室、研修集会、展示の機能が無い。</li> <li>▲包括支援センター設置のために現図書館割愛に反対。</li> <li>◎地域コミュニティのひろばに。展示交流機能を。</li> <li>▲現状の事務/裏方スペースは狭く、機能的でない。</li> </ul>	<p>カルタ04/活動・地域館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貸出冊数規模は9.2万冊～16.4万冊</li> <li>・利用者数はH12→H26で増減に格差あり。（東寺方132%。豊ヶ丘52%。聖ヶ丘72%。合計18.4万人）</li> <li>・全ての地域館分館の貸出利用率は全体の30%。</li> <li>・豊ヶ丘は本館開設後の利用は半減したが依然多い。</li> <li>◎高齢者や児童サービスを更に手厚くする必要。</li> <li>・職員のお話会、ボランティアのお話会が人気。</li> <li>・児童館や老人福祉館との連携ができる。</li> <li>◎児童生徒が徒歩で使える地域館と学校の連携を。</li> <li>◎行動プログラムの更新で、存続となった地域館の将来像や再整備を、いづれも住民利用者と一緒に精査や検討をするのか予定を示して欲しい。</li> </ul>	<p>▲唐木田図書館の委託(6年)についての行政効果検証ができていない。</p> <p>◎休館日が増えても、新刊入荷が遅れても、既にある良書がきちんとある地域館の存続を前提としてほしい。</p>
<p>分館 ＜拠点館＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関戸</li> <li>永山</li> </ul>	<p>カルタ05/本・拠点館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館蔵書規模は約10万冊、全て開架。</li> <li>▲全集ものの全巻が揃って棚にない。</li> <li>・新聞のタイトル数は関戸14永山18、雑誌のタイトル数は関戸約100永山約150。</li> <li>▲開架室の成長の方向性、5年後の展望は。</li> </ul>	<p>カルタ06/人・拠点館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館職員規模は17人～20人（常勤6人、嘱託等11～14人の構成）（職員1人年間貸出し2.1万冊～2.4万冊）</li> <li>・障がい者サービスは、職員全員の交代制で対応されている。</li> <li>・点字資料の作成は、市民グループ作業による。</li> </ul>	<p>カルタ07/場・拠点館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館床面積規模は約1000㎡。（関戸1045.永山984㎡）</li> <li>・永山の喫茶コーナーは人気がある。</li> <li>・地域に近い図書館の魅力。児童生徒の居場所。</li> <li>▲お話室、展示の機能が無い。</li> <li>・関戸の研修室は人気。</li> <li>・永山は医療機関に近く、障害者支援活動の拠点。</li> <li>▲永山は、資料スペース座席数ともに満杯状態。今後の成長の方向性をどうイメージするか。</li> <li>・市民の展示交流機能を。</li> <li>▲現状の事務/裏方スペースは狭く、機能的でない。</li> </ul>	<p>カルタ08/活動・拠点館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貸出冊数規模は35.3万冊～48.8万冊</li> <li>・利用者数はH12→H26で増減に格差あり。（関戸116%。永山87%。合計35.5万人）</li> <li>＜今後の拠点館への要望＞</li> <li>◎中央館整備後の、永山図書館と関戸図書館の将来像を構想し、再構成と魅力化策を考える。</li> </ul>	<p>＜今後の拠点館への要望＞</p> <p>◎永山図書館に夜間受け取り機能を。</p> <p>◎中央館が出来ても、障がい者奉仕の機能を全て移転しないで欲しい。</p>
<p>図書館 ＜本館＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現本館</li> <li>専門的直接サービス</li> <li>資料群構築センター</li> <li>アウトリーチサービス</li> </ul>	<p>カルタ09/本・現本館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館蔵書規模は約34.8万冊。開架11万冊。</li> <li>▲新聞のタイトル数は9、拠点館より少ない。</li> <li>▲雑誌のタイトル数は100未満、拠点館以下。</li> <li>▲視聴覚資料は近年購入していない。</li> <li>▲専門書のリストには近隣市相互貸借で対応。</li> <li>▲全集ものの全巻が揃って棚にない。</li> <li>▲詳書類など基本図書が分散して本館に無い。</li> <li>＜今後の中央館への要望＞</li> <li>◎資料収集方針をしっかりと作ってほしい。</li> <li>◎土日閉館の行政資料が収蔵された中央館を。</li> <li>◎そこにに行けば何でも調べられる図書館がよい。</li> <li>◎安全な資料の保管体制を。（調温度、調湿、防火）</li> </ul>	<p>カルタ10/人・現本館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館職員規模は41人（常勤25人、嘱託等16人）（職員1人年間貸出し0.96万冊）</li> <li>＜今後の中央館への要望＞</li> <li>◎本館を中央館にして、課題解決形のサービスを。</li> <li>◎役立つことに気づく中央館の運営を。</li> <li>◎急激に進む高齢化、高齢者に対する計画を。</li> <li>◎中央館が分館を充実させるよう支援するシステムを。</li> <li>◎職員組織が充実成長する合理的な職員体制を。</li> </ul>	<p>カルタ11/場・現本館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10年間暫定施設として開校の中学校を改修整備。</li> <li>・図書館床面積規模は約5480㎡を使用。（開架室860.閲覧室135.学習室102.事務室272）</li> <li>▲空調不十分だが、学習室、閲覧室などゆったり。</li> <li>▲駐車場規模、書庫や開架室床の耐荷重の不足。</li> <li>・2階学習室でパソコンが使えるのがよい。</li> <li>◎本館に無い新中央館機能を（まち討議会意見）居心地のいい空間/集うことの価値/書庫機能/学習支援/相互学習拠点/資料充実/他施設連携。静粛閲覧席増とサロンの分離/ICT個人ブース/AV視聴環境/グループ活動室/駐車駐輪場の充実/バリアフリー化/障害者奉仕/BM復活/予約本受取拠点/サロン空間/IT情報発信/多世代交流/保育環境/自由に集まり、充実したIT環境の中央館を。</li> </ul>	<p>カルタ12/活動・現本館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲暫定利用施設のため、駅から徒歩15分、坂の上。</li> <li>▲バス停から遠く多様な利用者にアクセスが悪い。</li> <li>▲弱者の車利用にも十分な駐車場が無い。</li> <li>▲校舎利用のため荷重分散で利用動線が長い。</li> <li>▲荷重制限で資料は分館に分散配置されて不便。</li> <li>▲3.4階の書庫は冷暖房が無く、保存に達さない。以上から早急な中央館整備の必要性が、図書館協議会から答申されている。</li> <li>▲駅前の永山拠点館より貸出利用が少ない。</li> <li>・本館の貸出冊数規模は永山に次いで38.9万冊。</li> <li>・利用者数はH12→H26で3倍増。（273%。13.5万人）</li> <li>・赤ちゃん向けお話会など企画が人気有り。</li> </ul>	<p>＜今後の本館マネジメントへの展望＞</p> <p>◎現状の職員体制の行政効率の評価から、適正再配置の研究を行い、建設準備室の人員確保研究が必要。</p> <p>◎中央館計画について配置可能人員と開館時間計画の条件研究が必要。</p> <p>◎全域図書館奉仕の主体的運営を、正規職員再編で行う研究が必要。</p>
<p>全域奉仕 図書館システム ＜ネットワーク＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政資料室</li> <li>幼稚園保育園</li> <li>(学校図書館支援)</li> <li>病院/老健/包括支援施設</li> </ul>	<p>カルタ13/本・ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>渡邊茂男氏寄贈の「へなそうるのへや」新設。</li> <li>・障害者サービスで資料の作成やデータベース供用進む。</li> <li>▲経年統計は、蔵書冊数は微減、資料購入費横ばい。</li> <li>▲図書館に所在記号がなく返却館に置かれるシステム。</li> <li>▲関係付けた棚構成や棚表現が目指されていない。</li> <li>▲奉仕人口や館数に対する副本購入が無い。または出来ない。ベストセラー要望には20冊程度対応。</li> <li>▲副本が無く所在が不定でリクエストと物流が多い。</li> <li>▲文化財など多摩市の行政資料の表現が不十分。</li> <li>＜今後の図書館への要望＞</li> <li>◎レファレンス機能や動き盛り世代への情報強化を。</li> <li>◎学校図書館の資料数や資料費は、文科省の基準を。</li> <li>◎中央館が分館を充実させるように支援するシステムを。</li> <li>◎収書方針は分野分類に沿ったルールを決めて行いたい。</li> </ul>	<p>カルタ14/人・ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館職員規模は109人（正職44人）（職員1人年間貸出し1.59万冊）</li> <li>＜今後の図書館への要望＞</li> <li>◎動き盛り世代に需要のある専門的資料の収集を。</li> <li>◎地域館に不十分な行政資料の収集と充実を。</li> <li>◎中央館が分館を充実させるように支援するシステムを。</li> <li>◎将来に外部委託化がされないよう計画的な有資格正規職員の採用と配置を。</li> <li>・学校図書館へは2回/日、調べ学習貸出の対応。</li> <li>◎学校図書館や学校司書の相談連携の図書館窓口を。</li> <li>◎学校と公共の司書の交流勤務研修や配置交換研究</li> <li>◎学校図書館の資料支援相談、学校間連携、職員研修など、公共図書館や図書館協議会との関係強化を。</li> </ul>	<p>カルタ15/場・ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲学校図書館を公共図書館の地域サービス拠点にするアイデアは、安全と授業カリキュラムで困難。</li> <li>▲学校図書館に新鮮な資料の充実をさせつつ、環境の魅力化への取り組みが、進んでいない。</li> <li>▲行政資料室は市役所第二庁舎に位置しているが、市の職員や議員の利用は盛んではない。（利用活性化のためのどんな取り組みがあるか）</li> <li>▲行政資料室には以前、郷土資料が配架されていたが、蔵書構成の見直しで本館に集約された。</li> <li>▲資料室資料の副本が本館に常備されていない。（以前郷土資料展示が行政資料コーナーにあった）</li> </ul>	<p>カルタ16/活動・ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎多摩市第五次総合計画/基本計画(施策の成果目標)では、H26年度市民一人当年間貸出し11.7冊を達成。</li> <li>○人口はH12→H26で、14.1万→14.8万人の微増。</li> <li>○登録者数・利用登録率41%（6万人）は好成績。（人口10～15万人都市中で貸出密度2位。予約1位）実利用者21%（3.1万人）、のべ貸出利用67.6万人。</li> <li>▲だが、利用者総数は14年間で減少傾向にある。</li> <li>・年齢別では40代～70代。6歳から14歳が多い。</li> <li>▲5歳以下、15歳～20代の貸出利用が低調である。</li> <li>▲学校図書館は、全校に司書が配置され、公共図書館との連携など形が整いつつあるが、年間資料費が少なく、生徒児童の貸出密度が延びていない。</li> <li>◎経年統計や他市統計から検証や研究が必要だろう。</li> <li>◎コンクリートの根幹、新中央館への交通アクセスの整備を。</li> </ul>	<p>・図書館の基本方針・運営方針を持つ。</p> <p>・読書活動振興計画(H28)を策定する。</p> <p>・公共施設の見直し方針と行動プログラム更新で今後の改変の方向が示される。</p> <p>・多摩市教育振興プランで学校図書館の施策が進んでいる。</p> <p>▲H12→H26の経年統計で図書館費は、7.16→6.37億円。人件費委託費は、4.59→5.03億円。資料購入費は、9300→5050万円。職員数は、87人(常勤45)→99人(38)</p> <p>▲人件費比率の高さ、若い専門職員の配置が難しいことが課題となっている。正規職員組織の専門性の継続が課題。</p> <p>◎この館でも正規職員配置があり、同じサービスが直営で受けられる期待。</p>
<p>資料世界 ＜世界表現性・地域性＞</p>	<p>図書館員 ＜専門性＞</p>	<p>図書館施設 ＜ひろば性＞</p>	<p>市民利用者 ＜市民性＞</p>	<p>レジビリティ&amp;サステナビリティ ＜持続可能性＞</p>	